

概要

- 提案国際集会名 「STS フォーラム (Science and Technology in Society forum)」
○総括責任者名 「尾身 幸次」
○提案団体名 「特定非営利活動法人 STS フォーラム」
(実施日程： 平成 24 年 7 月 12 日～平成 25 年 3 月 31 日)

国際集会の概要

1. 目標

科学技術分野における共通の価値観の確立に向けて、世界中の科学技術関係者のみならず政治家・政策担当者・経済人・ジャーナリストといった幅広い分野の人々が、科学技術の“光と影”の問題を議論し、世界規模の行動につなげていくこと。

2. 必要性

STS フォーラムは事務局を日本に置き、毎年年次総会を京都で開いている。STS フォーラムは日本で実施されている、科学技術と人類の未来に関する最大の国際会議であり、国際的なコミュニケーションの場として定着しつつある。まさに国際政策対話の実現・科学技術外交の推進そのものである。

3. 具体的内容

テーマ： 科学技術の光と影 Lights and Shadows of Science and Technology

- ・エネルギーと環境
- ・ライフサイエンス
- ・イノベーション、新素材
- ・教育と能力向上
- ・自然保護
- ・人間居住
- ・科学と社会

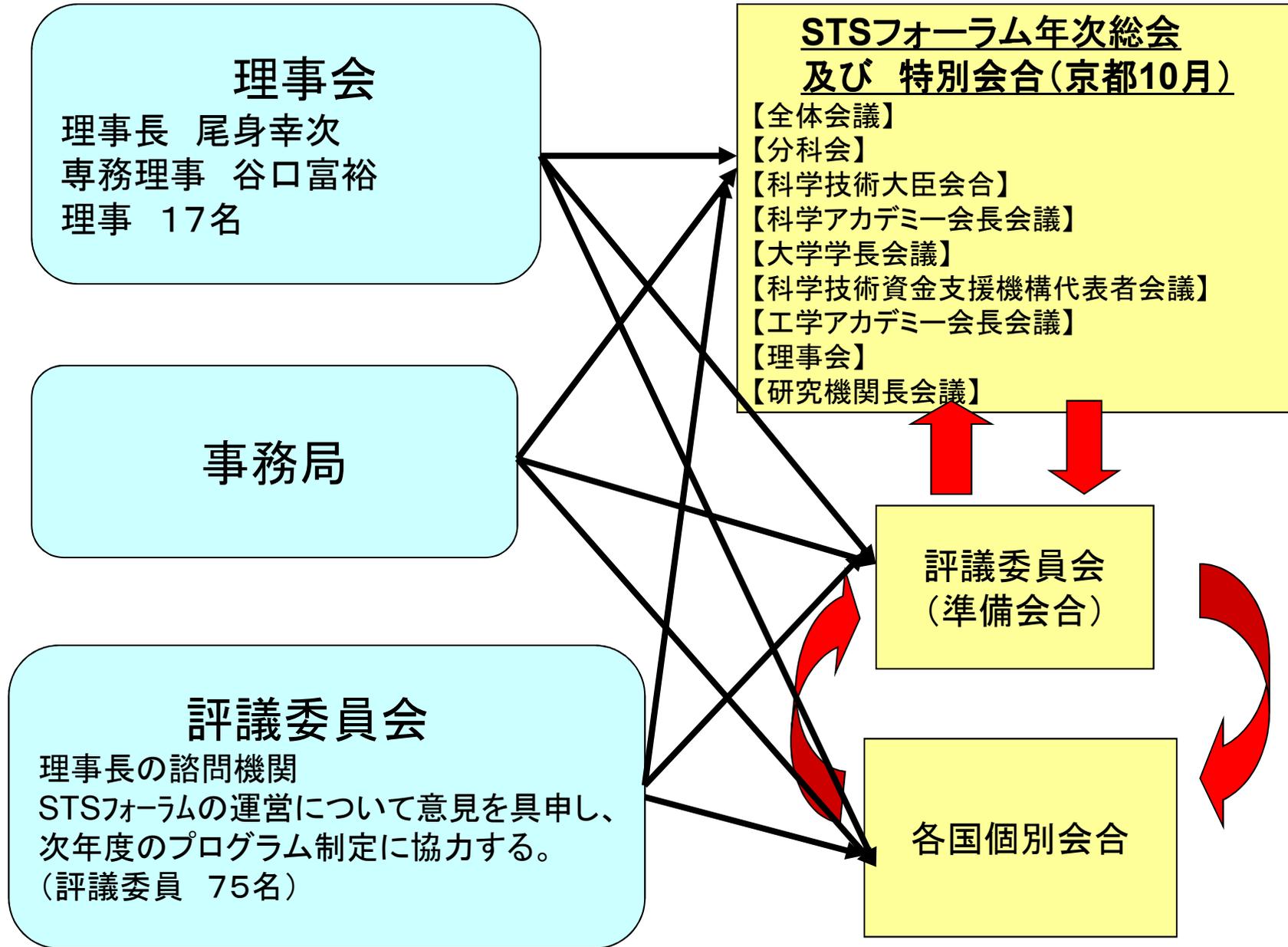
4. 実施計画

- (1) 第9回 STS 年次総会及び特別会合
- (2) ワシントン会議・欧州会議
- (3) 各国個別会合

実施体制

理事長 尾身幸次
事務総長 山元孝二 事務局長 芹澤ゆう

実施体制図



実施内容

プロジェクト名: STSフォーラム (Science and Technology in Society forum)

機関名: 特定非営利活動法人 STSフォーラム

1. 「討議テーマ・内容」及び参加者候補の 検討とフォーラムへの参加招へい

- (1) 討議テーマ、登壇候補者・議長役候補者の選定
- (2) 登壇者招聘レターの発送
- (3) 参加登録、質問への対応
- (4) 返事の集計結果により二次候補者への招聘レターの発送

2. フォーラム開催の事前準備

- (1) 登壇者の決定と内容の事前討議
- (2) 登録済みの全参加者の写真、プロフィールの入手
- (3) 配布用資料の作成、印刷
- (4) ホテル・会場等ロジの準備

4. フォーラム開催報告書のとりまとめ

- (1) テーマ・内容・参加者に関する検証
- (2) 討議記録とりまとめ
- (3) 事業報告書・議事録の印刷
- (4) 海外での評議員会で報告

3. STSフォーラム年次総会・特別会合の開催

- (1) 海外から重要参加者の招へい
- (2) 会場借料及び音響映像経費
- (3) 会議運営現地スタッフ等
- (4) 警備、通訳、カメラマン
- (5) 事務局関係者の移動(現地入り)
- (6) 事務局を会場内に移設(事務機器運搬)

ミッションステートメント

- 提案国際集会名 「STS フォーラム (Science and Technology in Society forum)」
- 総括責任者名 「尾身 幸次」
- 提案団体名 「特定非営利活動法人 STS フォーラム」
(日程： 平成 24 年 9 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(1) 国際集会の概要

科学技術の発達が人類により大きな便益と福音をもたらすことが期待される一方で、人類と地球環境を脅かす存在にもなりうるとの認識のもと、世界各国の科学者、政治家、経済人、ジャーナリストが一堂に会して科学技術の“光と影”、科学技術と人類の未来に関して議論するフォーラムを開催することにより、人類の発展と調和した科学技術の適切な発達に寄与することを目的とする。

テーマ： 科学技術の光と影 Lights and Shadows of Science and Technology

1) 第 9 回年次総会及び特別会合

日程と構成：

平成 24 年 10 月 6 日 (土) - 9 日 (火)

10 月 6 日 研究機関長会議、気候変動会議

10 月 7 日 開会式、全体会議及び分科会、科学技術担当大臣会合等

10 月 8 日 全体会議及び分科会、資金提供機関代表者会議等

10 月 9 日 議論総括及び全体会議、閉会式

参加予定の国・地域： 新参加国を含め 100 カ国以上の国・地域及び
国際機関

参加予定者数： 内外計 約 1,000 人

2) 理事会・評議員会・各国個別会合

(2) 終了時に見込まれる具体的な成果

1. 第 9 回年次総会における Statement

3 日間にわたって行われた全体会議・分科会を通じて得られた議論をもとに取りまとめ、公表する。

2. 国際政策対話の実現・国際的なコミュニケーションの場の定着

世界各国からの参加者による科学技術大臣会合・科学アカデミー会

長会合・大学学長会合・科学技術資金支援機構代表者会合・工学アカデミー会長会合、研究機関長会議を開催する。

(3) 期待される波及効果

世界中の政官産学界等のトップリーダーが集まり、科学技術の“光と影”の問題について議論することにより、STS フォーラムを通じて得られる成果が各国内での議論、さらには、今後国際社会において行われる分野別あるいは二国間・多国間の議論にまでも影響を及ぼし、波及していくことをねらいとしている。このような STS フォーラムを継続して開催し、世界のリーダーのための運動に成長することにより、人類のよりよい未来の建設に貢献していくことを目指している。